

令和5年1月19日	
資料提供	
担当課(室)	県立紀伊風土記の丘
担当班・係	学芸課
担当者	上村
電話	073-471-6123

令和4年度冬期企画展の開催について

下記のとおり令和4年度冬期企画展を開催しますのでお知らせします。

記

1. 名称 令和4年度冬期企画展
「遺跡への眼差し—きのくに考古学研究の120年史—」
2. 期間 令和5年1月21日（土）～2月26日（日）
3. 内容
考古学とは、モノに残された人間活動の痕跡を通じて、人類の歴史を明らかにする学問であり、洋の東西を問わず、人類の歴史を解明するためにこれまで多くの遺跡が調査されてきました。
日本における近代的な考古学の成立は明治期にさかのぼりますが、同じころに和歌山県でも、岩橋千塚古墳群（和歌山市）をはじめとした多くの遺跡の調査が始まります。こうした調査や研究には、大学などの機関に加え、研究・教育機関に属さない在野の研究者たちの活動が大きくかかわっています。
今回の企画展では、現在に受け継がれる紀北の岩橋千塚古墳群を中心とした調査研究・保存の歴史と、紀中・紀南の在野研究者による考古学研究について、考古資料、調査図面・日誌類、映像資料を展示し、遺跡の調査と保存に情熱を注いだ人々の活動を通じて、和歌山県における考古学研究と遺跡保護の歴史を紹介します。
4. 関連イベント
展示講座③（冬期企画展）
日時：令和5年2月12日（日）13：30～15：30
対象：小学生以上
定員：30名（先着順）
申込方法：令和5年1月27日（金）13：00～、電話予約
参加費：入館料+資料代
5. 入館料 一般190円／大学生90円
※高校生以下、65歳以上、障害者、県内在学中の外国人留学生は無料（要証明書）

なお、写真データをご希望の方は、
kofun@kiifudoki.wakayama-c.ed.jp までご連絡ください。



大正時代の岩橋千塚古墳群の調査風景



伝岩橋千塚古墳群出土 装飾付壺（個人蔵）



鳴神出土 馬形埴輪（当館蔵）